

## 50周年の節目を市民の手で

### 登別市市制施行50周年記念事業市民実行委員会 設立総会

8月29日(水)、市民会館で2020年に迎える市制施行50周年に向けて、登別商工会議所やのぼりべつ元鬼協議会、登別市市民自治推進委員会、登別市連合町内会、登別国際観光コンベンション協会、登別市社会福祉協議会、登別市文化協会、登別市体育協会の8団体が発起人として立ち上がり、その声に応じた市内の39団体と共に『登別市市制施行50周年記念事業市民実行委員会設立総会』（同実行委員会主催）が開催されました。

47団体の代表者らが出席した総会では、2年後に迎える市制施行50周年という大きな節目を、次の50年に向けたまちづくりの始まりとするため、市民全員が主役となってさまざまな取り組みを進めるとともに、市民活動や産業活動の活性化を図っていくという将来のまちづくりに対する思いを一つにしていきました。今後は、50周年記念事業を推進するため、『記念式典部会』、『広報・PR部会』、『記念事業部会』の3つの専門部会に分かれて、検討を進めていきます。



▲今後の進め方について確認した委員の皆さん



▲多くの市民が連携し、さまざまな市民活動の魅力を発信した市制施行40周年事業

## 各地の特産品が目押し

### 登別市民憲章制定50周年記念 第30回幌別地区手づくり祭り

9月1日(土)・2日(日)、市役所前の道道弁慶幌別線を会場に『第30回幌別地区手づくり祭り』（同実行委員会主催）が開催されました。道路沿いに金魚すくいや焼き鳥、登別閻魔やさそぎなどの露店が並んだほか、今年も市役所前に『姉妹都市ブース』が設けられ、姉妹都市である宮城県白石市・神奈川県海老名市の特産品のほか、友好関係にある大阪府泉佐野市・茨城県行方市の特産品も販売されました。たくさんの来場者がみそや地酒、うーめんなどの特産品の買い物を楽しんでいました。



▲デンマーク王国での体験について説明する石山さん(右)と出身地であるカナダの説明をするカイラさん(左)

## 全校生徒で体験を共有

### 西陵中学校「海外体験報告」

9月4日(火)、西陵中学校で、英語の授業の一環として全校生徒を対象とした『海外体験報告』が行われました。

授業内では、本市のデンマーク友好都市中学生派遣交流団の一員として、平成30年8月にデンマーク王国を訪問した同校2年生の石山明寿(いしやまあす)さんが『デンマーク派遣体験報告』を行ったほか、今年の8月から市のALT(外国語指導助手)を務めるカイラ・カーウィルソンさんによる『カナダ紹介』などが行われ、日本との文化の違いや他国の文化を体験して学んだこと、人とのふれあいを感じたことなどについて話を聞く貴重な機会となりました。



▲『姉妹都市ブース』の前でできた人の行列